

目 次

序章 概 説	1
1. 告示改正の趣旨	1
2. 主な改正項目（昭58建告第1319号から平13国交告第1026号へ）	2
3. 本指針・同解説の構成について	3
第1章 一般事項	5
1.1 共通事項	5
1.1.1 構造計算の方法	5
1.1.2 異種構造の混用等	7
1.1.3 保有水平耐力の計算原則	9
1.1.4 準拠すべき基・規準等	12
1.2 WRC造関連事項	12
1.2.1 異種構造の混用	12
1.3 WPC造関連事項	13
1.3.1 接 合 部	13
第2章 適用の範囲等	15
2.1 共通事項	15
2.1.1 階数及び軒の高さ	15
2.1.2 平面及び立面形状等	16
第3章 コンクリート及びモルタルの強度	19
3.1 共通事項	19
3.1.1 コンクリートの種類	19
3.2 WPC造関連事項	20
3.2.1 接合部のコンクリート	20
第4章 接合部に使用する構造用鋼材の品質	21
4.1 共通事項	21
4.1.1 接合部に使用する構造用鋼材の品質及び鉄筋の品質	21
4.2 WRC造関連事項	21
4.2.1 鉄筋の径	21
4.3 WPC造関連事項	22
4.3.1 鉄筋の径	22

第5章 基礎及び基礎ばり	23
5.1 共通事項	23
5.1.1 基礎ばりの配置	23
5.1.2 基礎ばりの幅	23
5.1.3 基礎ばりのせい	23
5.1.4 根入れ深さ	23
5.1.5 基礎ばりの配筋	24
5.2 WRC 造関連事項	25
5.2.1 曲げ補強筋	25
5.2.2 せん断補強筋	26
5.3 WPC 造関連事項	26
5.3.1 基礎ばりの幅	26
5.3.2 プレキャスト鉄筋コンクリート造基礎	26
5.3.3 曲げ補強筋	26
5.3.4 せん断補強筋	27
第6章 床版及び屋根版の構造	29
6.1 共通事項	29
6.1.1 床版及び屋根版の構造	29
6.1.2 開口部の留意事項	30
6.1.3 屋根版のひび割れについての注意事項	30
6.1.4 置 屋 根	30
6.1.5 ひび割れ幅の計算方法と目標値	30
6.2 WRC 造関連事項.....	31
6.2.1 最下階の床版	31
6.2.2 RC 造でなくてよい屋根版	32
6.3 WPC 造関連事項.....	32
6.3.1 最下階の床版	32
6.3.2 床版及び屋根版のかかりしろ	32
第7章 耐力壁	33
7.1 共通事項	35
7.1.1 耐力壁の長さ及び小開口配置	35
7.1.2 平面計画	36
7.1.3 立面計画	38
7.1.4 壁量の定義及び壁量算定用床面積	40
7.1.5 壁 量	40
7.1.6 耐力壁の厚さ	42
7.1.7 縦筋比及び横筋比並びに配筋間隔	42

7.1.8	曲げ補強筋及び開口部周囲の補強筋	42
7.1.9	非耐力壁	43
7.2	WRC造関連事項	43
7.2.1	応力解析法	43
7.2.2	曲げ補強筋	43
7.2.3	非耐力壁	44
7.3	WPC造関連事項	44
7.3.1	耐力壁長さのとり方	44
7.3.2	曲げ補強筋	45
7.3.3	応力解析法	45
7.3.4	頂部及び脚部の補強筋の配置	46
7.3.5	耐力壁の中心線により囲まれた部分の水平投影面積	46
第8章	壁ばりの構造	47
8.1	共通事項	47
8.1.1	壁ばりの幅	47
8.1.2	壁ばりのせい	48
8.1.3	壁ばりの配筋	48
8.2	WRC造関連事項	52
8.2.1	壁ばりのせい	52
8.2.2	壁ばりの曲げ補強筋	52
8.3	WPC造関連事項	55
8.3.1	壁ばりのせい	55
8.3.2	壁ばりの曲げ補強筋	55
第9章	接合部の構造	57
9.1	接合部の構造	57
9.2	鉛直接合部	61
9.3	水平接合部	68
9.4	床関連の水平接合部	69
9.5	その他	71
付録		
設計例 1	壁式鉄筋コンクリート造2階建住宅	73
設計例 2	壁式鉄筋コンクリート造4階建共同住宅	121
設計例 3	壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造5階建共同住宅	169
政令・告示に基づく壁式鉄筋コンクリート構造設計のフロー例		243